

中学生海外派遣事業

仲間と交流

シンガポール

自分がひとまわり成長

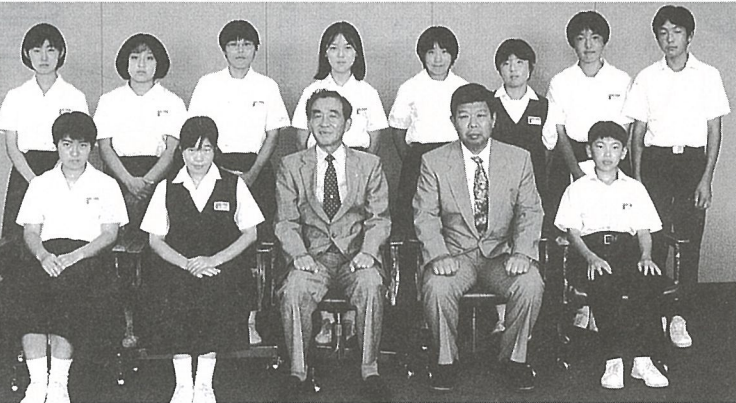
伊藤和也 (2年)

7月30日から8月3日までシンガポールに行きました。初めて行く海外で緊張しましたが、自分の目で文化や町などを確かめてみてくると応募し、本当に良かったと思っっています。この研修のために知り合った東総地区の中学生のすばらしい友達を得る事ができ、ぼく自身すごく世界が広がった様に思えます。シンガポー

ルは自分の想像以上にきれいな所で、アパートには国旗がついているのに驚きました。そして一番の思い出はウイトリー中学での交歓会でした。始めに中学を見て日本とはずいぶん違うなと感じたことは、すごく広い事でした。学校を案内された時、技術室の設備などはすごいものでした。もう一つ驚く事は18才ま

で中学生ということですが、体育館での歓迎会では、ウイトリー中学の皆さんはとても楽しく明るい歌を歌ってくれました。この海外研修で貴重な体験をさせていただき、自分がひとまわり成長した様なきががします。

町では、人材の育成と国際感覚を身につけていただくため、各種の海外研修事業を行っています。夏休みを利用して、アメリカ、オーストラリア、マレーシア、グアムで11人の中学生が海外生活を体験しました。ホームステイをしたり、多くの友達との交流や美しい自然に触れ、感動し帰国しました。青少年を対象とした海外視察研修では8月21日から25日までの5日間、マレーシア・シンガポールの2ヶ国を訪れました。



「楽しかった」「もう一度いきたい」元氣いっぱい町長に研修の報告

オーストラリア

言葉より心が通じた

土屋佳美 (3年)

オーストラリアで過ごした6日間は、忘れる事ができない程楽しかったです。そして、たくさん思い出もできました。その中でも特に、スマスフィールド高校で多くの友達と交流できた事が心に残っています。

初め私は、パートナーのベネッサが何を言っているのかよく分からなくて、頭の中がパニックになってしまいました。また、質問をされても答える事ができず、困ってしまふ場面もありました。

しかし、ベネッサ

はイヤな顔を一つせず、私の下手な片言の英語を理解しようと、一生懸命に聞いてくれたのです。この時は、もっと英語を勉強していれば自分の気持ちをはっきり伝えられたのにと少し後悔してしまいました。でも、雰囲気慣れしてくると言葉よりも心が通じ合えて、お互い楽しい時を過ごすことができ、あつという間に1日が経ってしまいました。この日、まともに通じた英語は少ないけど少し自信ができました。私は、この研修に参加して、いろんな事が学べて本当によかったです。



カンガルーと仲良しに